

京都市会だより

第46号

平成20年(2008年)
7月15日発行
発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上
TEL.075(222)3697
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



宇治川派流

門川市長の 平成20年度肉付補正予算を可決

5月市会定例会

5月定例会は5月16日から6月5日までの21日間開かれ、市長提出議案46件、議員提出議案6件を審議しました。市長提出議案のうち、平成20年度一般会計補正予算など8件については、「この予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。」また、京北区域内における建築物の制限に関する条例の制定など議案20件については、撤回された議案1件を除き、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、監査委員の選任など議案18件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、地方議会議員の位置付けの明確化に関する意見書など5件の議案を原案のとおり可決しました。

また、内海貴夫議長と官本徹副議長の辞職に伴い、正副議長の選挙を行った結果、議長に富きくお議員、副議長に小林あきつ議員がそれぞれ選ばれました。

肉付補正後の平成20年度一般会計予算の内訳(行政目的別)

区分	補正額	補正後の額	対前年度比較	
			金額	率(%)
社会福祉費	12億1,700万円	2,178億3,600万円	48億8,700万円	2.3
保健衛生費	3億5,000万円	490億8,200万円	88億1,000万円	15.2
産業経済費	62億3,400万円	698億8,100万円	128億5,700万円	22.5
都市建設費	130億7,800万円	1,165億2,700万円	133億3,000万円	10.2
教育文化費	17億	587億8,400万円	19億6,100万円	3.2
消防費	2億3,000万円	300億7,700万円	8億3,900万円	2.7
総務費その他	72億3,800万円	629億8,600万円	47億5,800万円	8.2
公債費		843億8,200万円	11億7,000万円	1.3
合計	300億2,000万円	6,895億5,500万円	12億9,500万円	0.2

今回審議した平成20年度補正予算の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

今回の補正予算はいわゆる骨格予算であった20年度当初予算に対し、市長のメソッドを具体化する政策的事業や新規事業に必要な経費の追加補正を中心とする肉付予算として編成されたものです。

その規模は、一般会計3百億円、特別会計159億円、公営企業会計27億円、合わせて486億円となりました。

この結果、一般会計の20年度予算の規模は6千895億5千5百万円で、前年度当初予算に比べ0.2%減となりました。内訳は、右下表のとおりです。また、特別会計と公営企業会計を合わせた合計は1兆7千141億5千8百万円で、前年度当初予算に比べ、20%減となりました。

就任あいさつ



京都市会副議長
小林 あきつ(つ)
(上京区選出 民主・新みい)



京都市会議長
富きくお
(山科区選出 自民党)

私たちは、5月市会定例会において、第74代市会議長並びに第83代市会副議長に選出されました。誠に光栄なこと存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

地方分権時代といわれる今日、大都市をはじめ地方自治体の力量が改めて問われる中で、地方議会の果たす役割はかつてなく重大となっております。京都市におきましても、依然厳しい財政状況の下で、少子高齢社会の進行、安心・安全、環境や景観、また京都副都心など多くの課題に的確に対応して、明日のまちづくりを進めていかなければなりません。

こうした中、京都市会におきましても、市政を監視していくことはもちろん、調査機能、政策立案機能を発揮していくことが重要であると考えております。

このため、私たち議員は、市民の代表としての初心を忘れず、政策の手厚くや提言など自らの見識・能力を高める研鑽、努力をより一層重ね、市民に信頼される、開かれた市会づくりに取り組んでまいります。所存であります。

今後とも、市民の皆様方からの期待と信頼にこたえるため、全身全霊を傾けてまいりますので、ご理解と協力をよろしくお願い申し上げます。